

——投資先ベンチャー企業を上場させることで株式売却益を稼ぐVC（ベンチャーキャピタル）にとってナスダック撤退は打撃になるのでは。

「情報技術（IT）関連市場の低迷で米ナスダックの勢いが弱まっているだけに、大阪証券取引所の新市場からナスダックのブランドがなくなっても大きな影響はない。投資先企業を上場させる入り口が狭くなるという見方があるが、他の二市場だけでも補える」

「投資家が十分評価する有望企業なら、どの市

場でも上場し資金調達できるはずなので市場の数は問題ではない。それよりナスダックに刺激されベンチャー企業の株式公開を積極的に促すようになった店頭（ジャスダック）や東京証券取引所マザーズが今後、冷淡になるなど、一部で混乱も入るなど、私が投資しているベンチャー企業一社がナスダック・ジャパン上場計画を急ぎ取りやめ再検討に感はある。上場に値する有望企業を数多く送り出させなかったという点で

上場計画、一部で混乱も

VCの投資拡大 遺産に

VCにも責任の一端がある。ただナスダック進出を受け一九九九年前後からVC設立ブームが広がった。これらの新興VCが投資したベンチャー企業は、成長企業場社数が増え、成長企業に資金調達の間を上げた意義は大きい」

「ベンチャー企業を育てる市場にするにはどうすれば良いのか。」「極端に言えば市場は株式売買のインフラを提供するだけ。上場企業を

急成長の可能性もあるベンチャービジネスに対して、銀行の融資でなく、リスクを覚悟した株式投資で資金供給する仕組みが日本にとって絶対に必要。新興市場が資金調達

の場として成長すれば、有望な起業家が上場を目指す好循環が生まれる」

「高いリスクがあるが選別するのは公開引き受けを担当する証券会社の役割だ。上場後のベンチャー株の売買が活性化するには、賢い投資家が活発に投資することが必要。新興市場が資金調達



日本テクノロジーベンチャーパートナーズ代表

村口 和孝氏

「残念ながら米国に比べると、日本市場での上場社数は計画に届かなかった。」

「残念ながら米国に比

「高いリスクがあるが急成長の可能性もあるベンチャービジネスに対して、銀行の融資でなく、リスクを覚悟した株式投資で資金供給する仕組みが日本にとって絶対に必要。新興市場が資金調達

の場として成長すれば、有望な起業家が上場を目指す好循環が生まれる」

「高いリスクがあるが急成長の可能性もあるベンチャービジネスに対して、銀行の融資でなく、リスクを覚悟した株式投資で資金供給する仕組みが日本にとって絶対に必要。新興市場が資金調達

再考 新興市場

米ナスダック撤退を聞く

①